



させぼ夢大学

発行●公益社団法人 させぼ夢大学
編集委員会
事務局／〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
<https://www.yumedai.com/>
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

令和7年度
第7回

2025年 10月15日(水)
アルカスSASEBO 大ホール

開場 17:30
夢のひろば 18:00
講演 18:30(終了20:00)

No.352 <2025・10>

第7回講演会の講師は、俳優の市毛良枝さんです。

市毛さんは、静岡県出身。文学座附属演劇研究所、俳優小劇場養成所を経て、ドラマ「冬の華」で1971年デビュー。以後、テレビ・映画・舞台の出演をはじめ、執筆・講演活動と幅広く活躍されています。

40歳で北アルプスの燕岳・常念岳に登ったのをきっかけに、本格的に登山を始め、1993年にはキリマンジャロ、後にはヒマラヤの山々にも登頂しました。このような経験から、環境省の環境カウンセラーや、NPO法人日本トレッキング協会の理事も務めています。

今まで敬遠していた山登りに一步



踏み出し、自分を見つめ直し、新しい世界を開いた市毛さん。開いた扉の先に、新しい世界が広がり、友達が増えているそうです。

しかし、市毛さん54歳の時、お母様が脳梗塞で倒れ、その介護に没頭するため、山登りを中断します。が、その13年間の中で、自分の体を立て直すために始めた社交ダンスの中でもまた、別の友達ができ、世界が広がっていったとのことです。

俳優という仕事をしながら、お母様の介護にも全力を尽くし、次々に新しい世界を切り開き、友人を増やしていく市毛さん。何とすばらしい生き方でしょうか。お話を聞くのが楽しみです。

い ち げ よ し え
講 師 ● 俳優 **市毛 良枝氏**

テーマ・介護における自然の大切さ



次回のご案内

- と き／11月21日(金) 18:30～20:00
- 講 師／歴史コメンテーター か な や しゅんいちろう 金谷 俊一郎氏
- テーマ／幕末の偉人たちに学ぶ

●京都府出身。歴史コメンテーターとして、誰にでもわかりやすく日本の歴史・文化や地域の魅力を伝える活動を行っており、全国での講演会や、テレビ・ラジオに多数出演。30年以上にわたり、東進ハイスクールの日本史料トップ講師も務める。著書は、学習参考書から一般書まで多数。主なテレビ出演は、「今夜はナゾトレ」、「世界一受けたい授業」、「Qさま!!」、「クギズケ!」など。

10月の講演会は第3水曜日です。

市毛 良枝 氏のプロフィール

●静岡県出身。文学座附属演劇研究所、俳優小劇場養成所を経て、ドラマ「冬の華」で1971年デビュー。以降、テレビ・映画・執筆・講演と幅広く活躍。40歳から始めた登山を趣味とし、キリマンジャロやヒマラヤの山々に登っている。環境問題にも関心を持ち、1998年度に環境省の環境カウンセラーに登録され、特定非営利活動法人日本トレッキング協会の理事も務めている。





青山和弘氏



■「政治の舞台裏」というテーマに、興味津々で聴き入りました。普段は小難しい政治の話ですが、その裏側をユーモアたっぷりに話され、会場を沸かせました。

現在進行形の内容なので、大笑いしながらも、より関心を深めることができたと思います。

佐世保市もみじが丘町●山川 芳香

■真に名のとおり、高倉照一さんの太鼓は、人の心を照らすようで深く沁みました。

テレビでよく見る青山氏を実際拝見すると、何か身近に感じました。軽快で明るい青山氏の講演は、政治への危機感を抱く内容であり、次の世代の生きづらさを感じます。これからの平和を願うばかりです。

今日も、エネルギー注入されました。

佐世保市比良町●岡井 真紀

■独立して、一匹狼として活躍されている青山氏。

歯に衣着せず、ズバリと分析し、解説された政治の舞台裏。自民党総裁選を前にした、実にタイムリーな講演であり、内容もわかりやすかった。

佐世保市南風崎町●横山 春美

■政治ジャーナリスト青山氏の、石破綻理とのコミュニケーション力はすごい。

自民党総裁選では、5人の人格やガバメントを確認し、物価高や少子高齢化等、多くの問題点の荒波を乗り越え、日本丸の舵をしっかりと握っていく方を選んでほしいものです。

佐世保市東浜町●碇屋 秀俊

■今日も興味津々の話題で、今度の自民総裁選を誰が制するのか？

野田氏の「敵は自民党ではない」。正にそのとおりで、我が家の孫も携帯の情報を見て、投票しました。国会議員にも、定年があればいいのにとよく仲間と話します。政治の舞台裏を少し覗かせてもらいました。

佐世保市鹿子前町●原 逸子

■「夢のひろば」の和太鼓ソロ演奏は、毎日の暑さを吹き飛ばしてくれるような素晴らしいパチぱときでしたね。「自分は知的障がい」と、力強い言葉でおっしゃいました。これからも、頑張ってください。応援します。

青山氏の講演は、丁度よいタイミングで、貴重なお話を聴けました。今後の政権がどうなるか、目が離せません。

佐世保市赤崎町●木村 典子

■心に響く篠笛の音色、心をゆさぶる力強い太鼓の音、「夢のひろば」で元気をもらいました。

講師の青山和弘さんのお話を聴き、日本の政治は大丈夫なのか、世界に対応していくのか、本当に心配になりました。国民不在の政治、とても不安です。

私たち国民一人一人が、もっと真剣に政治を見つめていかないといけないと考えさせられました。とても勉強になりました。

佐世保市大宮町●田中 美穂

令和8年度 第35期生募集について

現受講生の申込みの方法が、簡単になります！

現受講生の皆様においては、入学の手続きが簡単になり、一括抽選なしで入学できますので、入学がしやすくなりました。現受講生の皆様には、来月の「夢のつづき」11月号に、郵便局の「(受講料) 払込取扱票」を同封し、郵送させていただきます。その「払込取扱票」の取扱い方を、下記のとおりご説明します。

- ① 「払込取扱票」は、個人専用の用紙となっており、受講生の氏名・住所・電話番号等の情報を記載しています。
これまでには、入学のたびに、「申込書」に記載し提出していましたが、その手間がなくなります。
- ② 来年度(令和8年度)も受講申込みの方は、「払込取扱票」を郵便局に持参し、記載の金額を納入していただければ、その時点で、入学の手続き完了となります。
- ③ 早く受講料を納めていただいた方から順に、「学生証」を2月上旬から郵送する予定です。これまでには、3月中旬に郵送していた「学生証」が、早めに皆様の手元に届きます。

※ 一般公募の新聞折込みのチラシ配付は、例年より1か月早く12月21日(日)に行う予定です。現受講生の皆様には、一般の方々に対しての広報も、よろしくお願いします。なお、一般公募は、定員を超えた場合は、抽選になりますので、ご注意ください。

※ 法人会員及び佐世保市中小企業労働者福祉サービスセンター(ウェルズサセボ)会員の皆様には、11月号でお知らせします。

夢のひろば

◆日 時／10月15日(水) 午後6時～6時20分

◆演目／ダンス

◆出 演／聖和女子学院高等学校 ダンス部

◆出演団体紹介

私たち聖和女子学院高等学校 ダンス部
は、3年生4名、2年生5名、1年生5名の計
14名で活動をしています。

部員のほとんどがダンス未経験者ですが、年に3回出場する大会で入賞すること目標に、学年の枠を越え、切磋琢磨しながら練習に励んでいます。

また、HIPHOPだけでなく、K-POPやチアダンスにも挑戦しており、様々なイベントに出演させていただいている。

◆演目紹介

今回のステージは、7月や9月に開催した大会のダンスやK-POP、自分たちで創作したダンスを披露します。全体でパフォーマンスをしたり、学年ごとのグループに分かれて踊ったりしますので、私たちの動きをぜひお楽しみください。

会場の皆様に、笑顔をお届けできるよう、頑張ります。



9月 萬のひろば 和太鼓奏者 高倉 照一「和太鼓演奏」

『生々しい』政治の舞台裏

佐世保市大和町
新北
博美

自民党総裁選を間近に控えたタイミングでの青山氏の登壇。期待どおり、今現在の政

う部分もあつた。それは、記者の目線とでもいうのだろうか。ああ、そんなふうな見方もあるのかと、とても新鮮に思えた。明日から、政治欄を読むのが、おもしろくなりそうだ。

生々しい政治の舞台裏 今こそ 本質を見極めよう!

総理が誰になるかによって
大きく日本は変わる！

国内の内外で不穏な動きが目立つ中、今の政治で本当に大丈夫だろうか。ウクライナやパレスチナ問題。中日朝首脳は結束を強調し、トランプ政権は「力の支配」を誇示している。

「政治記者は営業マン」と、記者としての姿勢を示し、講演者の青山氏が登壇された。「自分勝手な分析ですが（テレビで話せない）」と言いつつ、石破政権崩壊の分析、野党との連立交渉の見解、ポスト石破を巡る攻防等を事細かく話された。そして最後の最後、「総理が誰になるかによつて、大きく日本は変わる」と結ばれた。

講演を聴きながら、「政治屋は、次の選挙のことを考える。政治家は、次の世代のことを考える」と言つた米国の政治家の言葉を思い出した。この言葉を軸に、今後の政界の動きをじっくりと見つめて

記者の目

西海市大島町 小中尾政子

いくことの大切さに気づかされた。
それにつけても、東京での世界陸上。厳しい残暑の中、自らの限界に挑む、若きアスリートたちの勇姿に感動だ！

記者の目
西海市大島町 小中尾 政子

私は、新聞のコラム欄を読むのが好きなので、古賀理事長さんが挨拶で語られた、被災地でのボランティアの学生さんと愛子様のエピソードは、私もすぐに娘にラインで知らせたお話だった。愛子様も来崎された直後で、夢大学にとっても、とてもタイミングいいお話を感じつつ、心が温かくなつた。

障がいをもつておられると
いう高倉照一さんの和太鼓の
演奏は力強く、和太鼓が大好き
だという気持ちが伝わって
きた。私は、高倉さんの「演
奏や作品を通して、僕たちの
ことを知ってください。」と
いう言葉が心に残った。知ら
ないことで、自分では気づか
ないまま、相手を傷つけてい
ることがあると、最近思った
ことがあるからだ。「知る」
ということ、相手を理解しよ
うとすることを、大切にして
いきたいと思う。

私は、自民党員ではないので、候補者に投票することはできませんが、日々、テレビのニュースや新聞の記事で情勢を見て、います。このように、メディアを通じて得た、私なりの候補者の印象と比べ、青山さんは実際に関わっているため、違うところが多く、とても興味深いものがありました。青山さんの見方は、人柄や政治的な強み・弱みについて詳細であり、情報収集力の大きさに驚かされました。

したが、その人の周りを固める人々が、いかに上手く進めしていくかで、政治も大きく違つてくると思いました。消費税・外交・安全保障問題など、自分の生活に直接つながつてくるような部分が、誰が首相になるかで大きく変わると言われ、その意味が今回の講演でよくわかりました。まさしく「生々しい」政治の舞台裏を垣間見ることができた講演会でした。

佐世保 人物事典

17

(33) 菅沼 周次郎

すがぬま しゅうじろう

(34) 山崎 スサ子

やまざき すさこ

佐世保史談会 名誉会長

なかしま 中島

まさすみ 真澄

(33) 菅沼 周次郎 (一八七六～一九六三)
海軍軍人・私学校創設者
旧平戸藩士菅沼量平の二男として、明治九年（一八七六）、松浦郡平戸村（現平戸市）で生まれる。同二七年、私立尋常中学猶興館を卒業。幼い頃より平戸派南進論者の兄貞風の熏陶を得た。



菅沼 周次郎

その後、海軍兵学校（二期）に入学。明治三一年卒業し、軍艦「比叡」に乗込み、日露戦争、第一次世界大戦を経験した。同三八年、日露戦争で、軍艦「浪速」の航海長を務めた。大正二三年（一九二四）、少将佐世保鎮守府人事部長として、「凱旋記念館」建設に尽力した。

退官後、佐世保市の助役就任を辞退し、当時佐世保にはなかつた男子が進学できる私立の普通中学校創設を志し、大正一四年、西海中学校（現西海学園高等学校）を八幡町

(34) 山崎 スサ子 (二九一八～二〇一九)
アソカ学園創始者
大正七年（一九一八）、上京町西本願寺阿弥陀寺原田了悟の五女として誕生。昭和一〇年（一九三五）、県立佐世保高等女学校を卒業。同一六年、杉野学園師範科卒業。

佐世保空襲による寺の焼失を乗り越え、昭和二三年に上京町で、「アソカドレスメークー女学院」を新設し、学院長に就任した。若い教え子が



山崎 スサ子

七九歳の時、高齢者施設「あそかの森」を開設。「遊んでいるより仕事がしたい」と話し、家族を預けたくなるような施設を目指すよう、職員に伝えていたという。令和元年十月六日、一〇一歳の大往生であった。

(敬称略)

昭和二〇年（一九四五）九月三〇日、理事長及び校長を辞任。後の経営は、長男義重に任せ、創立者として後見した。

昭和三七年五月、南米コロンビア国の招待で、「花とせんの祭」に日本文化使節団の一員として渡海。その後、欧米一三か国を三ヶ月視察した。戦争で焼け落ち、父が大切にしていた幼稚園を再建。また自らの事業を支えてくれた卒業生の将来の居場所づくりとして始めた高齢者施設など、周辺への「恩返し」のように教育や福祉の事業にも尽力した。

★太鼓の響きが、心の中に
心地よく響きました！
「ながさきピース文化祭」の開会式で、瑞宝太鼓の仲間と出演したんですよ」と嬉しそうに語る高倉さん。自分を「一知的のハンデをもつ」と話す高倉さんは、これまでの困難を乗り越えた自信に満ち溢れています。

あの魂のこもった太鼓の迫力は、高倉さんのもつ素直さ・純粋さから生まれたものではないでしょうか。高倉さん、感動をありがとうございます。

いて、補足します。
①「払込取扱票」のみの申込みとしたので、手続きが簡単になりました。
②手続きが早く完了するので、「学生証」も早く届きます。（2月上旬以降）
③一括抽選を行わないのりで、現受講生はもれなく勉強になりました。

①については、これまで「受講申込書」を12月又は1月の講演会時に提出していましたが、この手間を省き、「払込取扱票」記載の受講料納入で、申込み完了としました。もちろん、受講申込みをされない方は、受講料納入の必要はありません。来月「夢のつづき」11月号には、令和8年度講師予定や申込み（納入）期限、受講料等を掲載します。来年度の講演会につきましても、興味をもなければ幸いです。

②の見開きページにある「令和8年度第35期生募集について」をご覧いただけましたでしょうか。

事務局だより

★青山和弘さん、ご講演ありがとうございました。

日本テレビ時代の先輩と一緒にになるということで、講演会終了後、佐世保市内で食事をされた青山さん。翌日

も、朝からの仕事で、午前6時30分ホテルを出発し、長崎空港に向かわれました。

このようなハードスケジュールの中、遠く佐世保にお越しいただき、今が旬の政治の裏話を教えてください、本当にありがとうございました。

もうすごい政治取材力。大変勉強になりました。

★来年度の受講申込みについて、補足します。

皆様、本誌「夢のつづき」の見開きページにある「令和8年度第35期生募集について」をご覧いただけましたで